

7
2020

湯原図書館だより

県立図書館の本の借受を再開しました!

お待たせいたしました!
6月17日(水)に、岡山県立図書館から新しく本を借り受けてきました。
一般書400冊(うち小説200冊)、児童書200冊の合計600冊です。

尚、次回に入れ替えは10月末の予定です。

絵本の日のご案内

乳幼児を対象とした絵本のよみかかせがあります。
皆さまお誘いあわせの上ぜひお越しください♪

7月22日(水) 10:30~
場所: つどいの広場

【問い合わせ先】0867-62-2170(つどいの広場)

イベント



なぞの 覆面ブックス あらわる!

図書館の本をさまざまなテーマに合わせて3冊ずつ選び、袋詰めしたものを特設コーナーにご用意いたします。どんな本が入っているかは帰って開けてみるまでのお楽しみ!

袋に書かれたおすすめメッセージを見て気になるものを選び、お借りください。貸出期間は普段と同じ2週間です。

【期間】

7月18日(土)~なくなり次第終了

真庭市立図書館全館で開催!

新着本紹介

●小説●

- ・結婚させる家(桂望実)
- ・さよなら願いごと(大崎梢)
- ・きたきた捕物帖(宮部みゆき)
- ・生かさず、殺さず(久坂部羊)
- ・奈落で踊れ(月村了衛)
- ・おいしくて泣くとき(森沢明夫)
- ・つながりません(長岡弘樹)
- ・ヒポクラテスの試練(中山七里)
- ・夜の向こうの蛹たち(近藤史恵)
- ・漣のゆくえとむらい屋颯太(梶よう子)
- ・疑う眼差し 身代わり若殿葉月定光⑤(佐々木裕一)

●児童書●

- ・アベベのぼうけん かんどうの下巻(佐藤雅彦)
- ・薬屋の魔女ティファニー④(アビー・ロングスタッフ)
- ・ネコ魔女見習いミルク③(ポーラ・ハリソン)
- ・いみちえん! ⑥(あさばみゆき)
- ・女神のデパート⑤(菅野雪虫)
- ・学園ファイブスターズ③(宮下恵菜)
- ・ヤバイ親友は知っている(藤本ひとみ/原作 住滝良/文)
- ・戦国ベースボール⑩(りょくち真太)
- ・世界一クラブ⑧(大空なつき)



「侵略者」/福田和代
日本領空に突如現れた不明機による自衛隊機撃墜事件。行方不明となった2人のパイロットは、独立国家樹立を目指すラースランドに拘束されていた。リムバックによる作戦が始動する中、驚愕の真相が明らかに…。



「縄紋」/真梨幸子
フリーの校正者・興梠に届いた自費出版小説の校正紙。それは“縄「紋」時代”に関する記述から始まる不可思議なものだったが、読み進めていくうち、現在にも繋がる共通点が幾つも現れて…。過去と現代、そして未来が絡み合う長編。

ゆばらとしょかん
湯原図書館
まにわしとよさか
真庭市豊栄1515
湯原ふれあいセンター内
【TEL】
0867-62-2014
かいかんじかん
【開館時間】
ごぜん 午前9:00~ 午後5:00

☆
☆
☆
☆
☆
☆
☆
☆
☆
☆

図書館へ入館する前には
『手指消毒・マスクの着用』
にご協力ください。
(簡易マスクも
ご用意しておりますので
ご利用ください)



《今月のカレンダー》

【休館日】毎週月曜日

その他、臨時休館になる場合があります

ブックるん

☎: 湯原小、社地区、都喜足地区
☎: 見明戸地区、健康増進センター(二川)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

休館日の返却本は、ブックポストへ入れて下さい。

● 湯原図書館にある本

▲ 湯原図書館にない本

・湯原図書館にない本は取り寄せできます。

第66回青少年読書感想文全国コンクール

課題図書紹介 ★★



●ながい5ふん みじかい5ふん /リズ・ガートン・スキャンロン

順番待ちの5分は長いけど、絶叫マシンの5分は一瞬。感じる時間の長さは、時計の時間と全然違う！5分は長い？短い？時間のおもしろさにふれる絵本。



●おれ、よびだしになる /中川ひろたか

小さいころから相撲が好きだったぼくは、中学を卒業すると「よびだし」になった。よびあげ、太鼓、土俵づくりなどを先輩に教えてもらい、やがて、ぼくの初土俵の日がやってきて…。大相撲の世界に飛び込んだ少年を描く。



●タヌキのきょうしつ /山下明生

校庭のコガネモチの根元にすんでいるタヌキたちは、ニンゲンの子どものように勉強がしたくなりました。そこで、夜の教室を借りて授業を始めますが…。広島を流るる流れをタヌキたちと一緒に見つめる、心あたたまる物語。



●山のちようじょうの木のとっぺん /最上一平

にしやんのところの犬・ごんすけが死にそうで、にしやんは元気がありません。死ぬのはこわいけれど、どうやって死ぬのか、いがらしくんは見てみたい気もして…。



●青いあいつがやってきた!? /松井ラフ

明日はせっかくの土曜日なのに、ひとりぼっち。つまらないな。転校したばかりのサトシが、部屋のまどから星空を見上げていると流れ星が。翌朝、全身青いへんなやつが現れて…。



●ねこと王さま /ニック・ジャラット

ドラゴンのせいでお城がもえてしまった王さまは、いちばんのともだちのねこといっしょに、小さな家にくらすことになりました。けれど王さまは、「王さまのしごと」のほかには、何もできなくて…。



●ポリぶくろ、1まい、すてた /ミランダ・ポール

アフリカの小さな村で、アイサトという女の子が破れたポリ袋を地面に捨てました。やがてゴミは2枚に、10枚に、ついには100枚に。ゴミの山に気づいたアイサトは、自分たちでなんとかしようと立ち上がり…。



●北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと /中山由美・文・写真

北極と南極、より寒いのはどちら？女性で初めて記者として南極観測越冬隊に参加し、その後も北極と南極を何度も取材してきた著者が、北極と南極のちがいや、そこから見えてくる地球環境の変化などを紹介する。



●月(るな)と珊瑚(さんご) /上條さなえ

勉強ができない沖縄の少女・珊瑚のクラスに、「ベルサイユのばら」のオスカルみたいな転校生・月がやってきた…。珊瑚の日記を通して、沖縄の「今」を生きる少女たちの日常を描く。



●風を切って走りたい! /高橋うらら

子どものころから物作りが大好きだった堀田健一さん。ある偶然の出来事から、世界に一つの自転車作りが始まり…。体の不自由な人のため、40年間で2600台もの自転車を作り続けてきた堀田さんの挑戦を描く。



●飛ぶための百歩 /ジュゼッペ・フェスタ

ぼくはもう子供じゃないんだ。中学を卒業したばかりのルーチョは、ただ「目が見えない」からって周りに差し伸べられる手は好きになれなくて…。盲目の少年の葛藤と成長を描く。一步を踏み出したい全ての人に送る物語。



●ヒロシマ 消えたかぞく /指田和

ヒロシマに落とされた原子爆弾が、にぎやかに暮らす鈴木さん一家を消し去った……。愛情あふれる家族写真の数々から、何気ない日常こそが大事であると気づかされる。家族で平和を考えるために最適の写真絵本。

【中学生】



●天使にもつ/いとみく
保育園を職場体験先に選んだ中学2年の風汰。「なんだって、こんなとこ選んじやっただらっ」と、保育園の看板に目をやって、ため息をついたこともあったが…。風汰の5日間の物語。



●11番目の取引
/アリッサ・ホリングスワース
アフガニスタン難民のサミと祖父の生きる術であり、心の拠り所だった伝統楽器ルバブが奪われた。買い戻すため、サミは友だちの助けを借りて物々交換を始めるが…。希望と友情の物語。



●平和のパト/弓狩匡純
被爆体験証言者の記憶を、1年かけて油絵に描いて記録する、広島の高校のプロジェクト。今を生きる高校生たちが、戦争や原爆を見つめなおしていくさまを綿密に取材して描いたノンフィクション。

【高校生】



●廉太郎/オト/谷津矢車
頭のなかに、いつも鳴り響いている音がある……。廉太郎は東京音楽学校で才能を開花させ、新しい時代の音楽を夢みるが…。歴史小説の俊英が描く、夭折の天才音楽家・瀧廉太郎の青春物語。



▲フラミンゴボーイ/マイケル・モーバーゴ
ナチスが侵攻してきたフランスで、何が起きたのか……。フランスの南部、フラミンゴの生息地カマルグを舞台にした、フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年とロマの少女の切ないけれど優しい物語。



▲キャパとゲルダ/マーク・アロンソン
激動の1930年代、スペイン内戦を世界に伝えた2人のカメラマン、ロバート・キャパとゲルダ・タロー。夢と理想に燃え、カメラを武器に革命に身を投じた、若き2人の青春の物語。

1・2年

3・4年

5・6年

中学・高校